

望月・浅科地域の未来を創る

令和7年度 集落支援員活動報告

担当：日向海翔

報告日：令和8年3月9日

活動のミッション



【必須】

- ・ 地域の現状と課題に関して分かりやすく整理する活動（地域の実情把握）
- ・ 地域のあり方に関する話し合いを促進する活動



【選択】

- ・ 地域資源の発掘及び振興に関する活動
- ・ 農林事業等の地域の産業振興に関する活動

1年間の活動ダイジェスト

新規訪問件数

約**50件**

訪問回数

約**150回**

新規訪問を通じた
関係構築を徹底

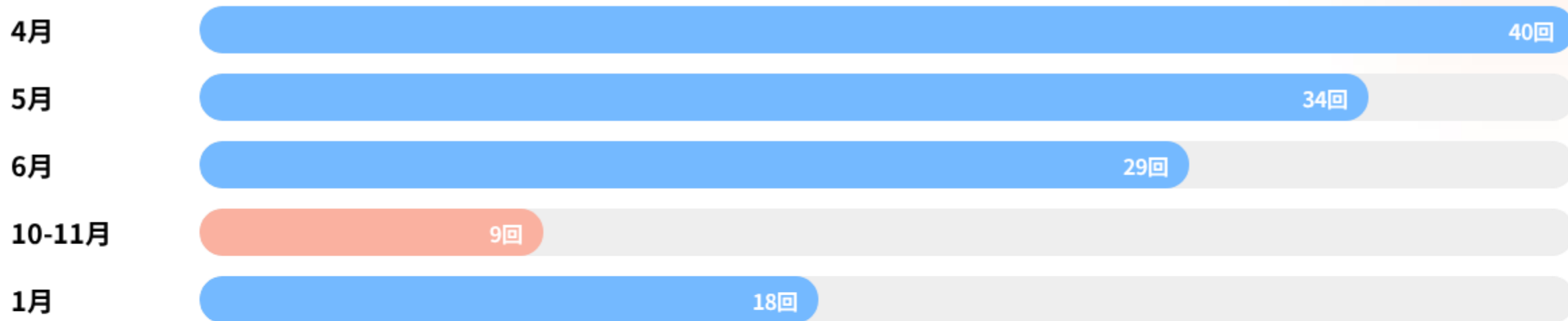
イベント出展

12回

県内外での佐久市
特産品PRと販売

「足で稼ぐ」をモットーに、計150回以上の訪問を重ねました。

月別訪問回数推移



ポイント：年度前半は徹底した新規訪問を実施。秋以降はイベント出展と、そのフィードバックを元にした継続訪問にシフトしました。

現場支援活動

農家さんのお手伝い：

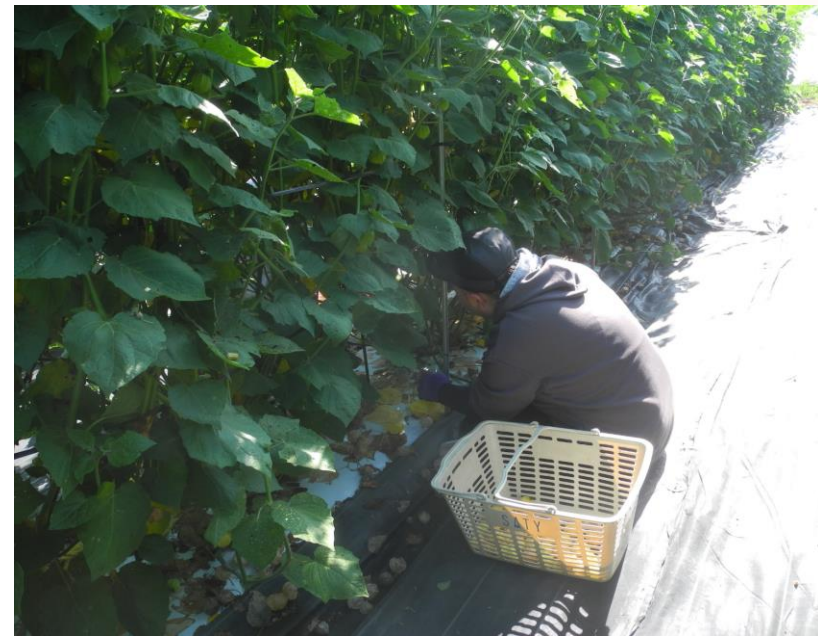
現場での実作業（3回）を通じ、生産者の苦勞と工夫を肌で感じました。

物産振興会参加イベントへの同行：

物産振興会が参加する市内外12件のイベントで物販等を行いました。

その他：

- ・ 佐久市過疎地域持続的発展計画の策定に係る有識者会議への参加
- ・ 佐久市有機農業実施計画推進会議への参加
- ・ 地域おこし協力隊及び集落支援員の初任者研修会への参加



地域の現状について

深刻化する鳥獣被害の実態

地域の農業を守るため、避けて通れない大きな壁

鹿被害：繁殖に追いつかない現状

例：鹿の繁殖

約2000体→約2400体

望月での捕獲数は一年で280体

年間400体増えるのに対し、捕獲は280体。毎年120体ずつ増え続ける計算に。

根本的な原因

- ・ 猟友会の人手不足
- ・ 公共解体場の不在



「減らない」構造が定着しています。

サル被害：知能との戦い

知能の有無：

庭の果樹を狙い撃ち。罠にかかりにくい。

農作物への被害も甚大。

人里への警戒心が薄れています。

生活圏への脅威：

通学路への出現は子供の安全を脅かす問題に。

窓を開けて家の中に入ってくるのでは？

対策の現状：

GPSによる位置把握を実施中。

さらなる「追い払い」の強化が急務です。



次年度の挑戦：鳥獣被害対策



現場の声を聞く

被害農家へのヒアリングを徹底。実効性のある情報の整理・共有。



負担軽減策

補助金・支援金情報の提供。農家が導入しやすい防護柵の提案。



専門知識の導入

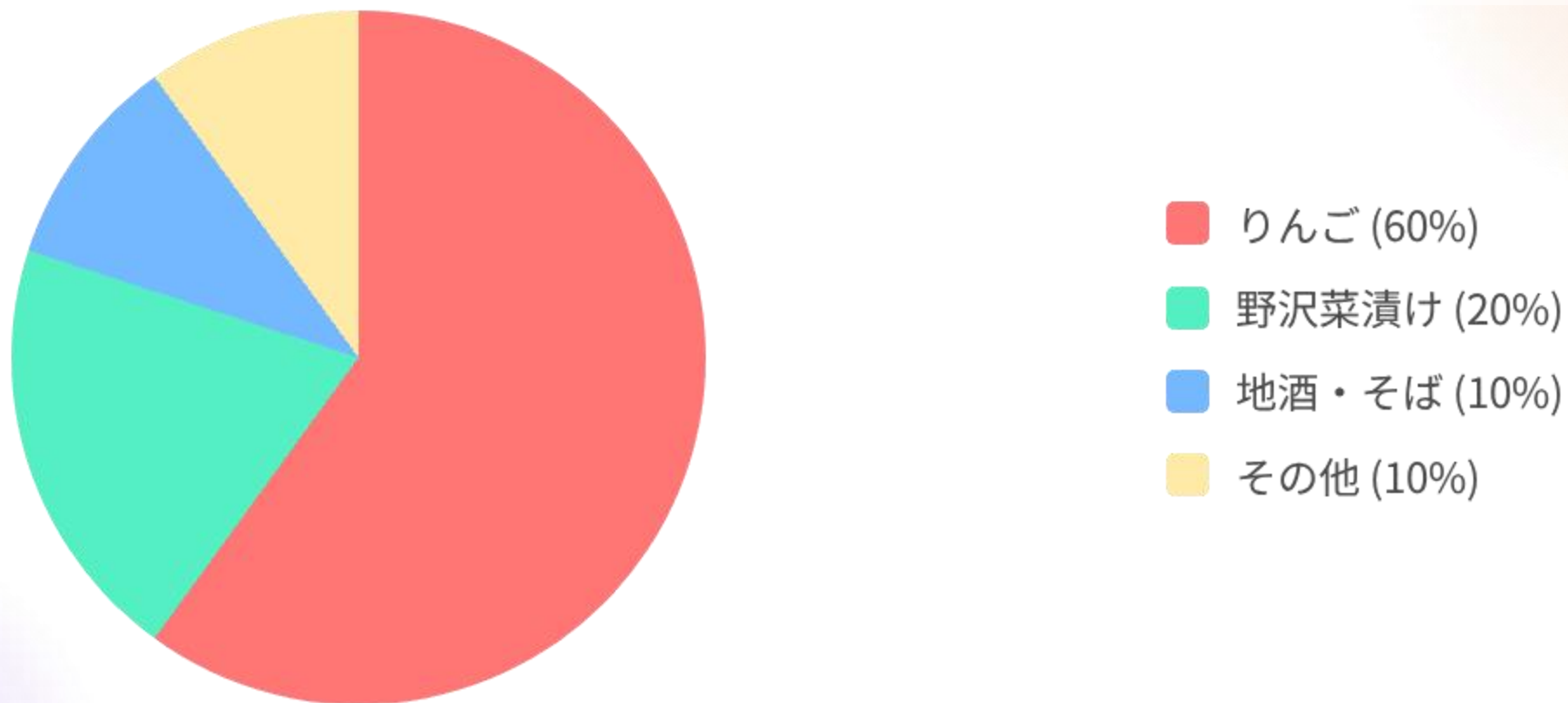
専門家へのアプローチと講演会参加による最新対策の学習。

主なイベント参加実績

開催月	イベント名	地域
4月	相模原さくらまつり / ちがさき産業フェア	神奈川県
9月	南アルプス山麓フェス	山梨県
10月	ぞっこんさくいち / ゆりほんスマイルフェスタ / のしろ産業フェア / 興津フェア	長野/秋田/静岡
11月	佐久市農業祭 / 相模原農業祭 / 宮前区民祭 / 産業フェア静岡	長野/神奈川/静岡
12月	しみずワクワクまつり	静岡

※計12回のイベントを通じ、沢山のお客様に佐久の魅力をお届けするとともに、市場調査を行いました。

特産品の売上構成比



圧倒的な「りんご」人気！品質と安さが選ばれる理由です。

イベント参加の流れ



準備

参加申込・会員への物販
呼びかけ



集荷

商品の集荷・会員さんとの
コミュニケーション



販売

対面販売・フィードバック

『佐久市の魅力』をより多くの方々に感じて頂けるように販売いたしました。

現地で得た「消費者の 声」

佐久市の強み

りんごの**品質の良さ**と**安さ**

「地酒」のレベルの高さに驚きの声。一つの市に11の蔵がある唯一無二性は強力な観光資源になります。

今後の課題

「佐久市」としての認知度不足。長野ブランドに頼らず、五郎兵衛米やプルーンの個性を際立たせる必要があります。



特産品のクロス・コラボレーション



「既存×既存」で1を10にする

0から作るのではなく、望月・浅科の誇る資源を掛け合わせます。

- 五郎兵衛米×雁喰みそ：最高のおにぎり企画
- 望月のチーズ×高原野菜：特製ピザ/前菜セット
- 地酒×凍み豆腐：新しいおつまみ提案

地域を超えた連携で、佐久市ブランドを確立します。



ご清聴ありがとうございました

地域とともに、一歩ずつ。ご質問をお待ちしております。

担当：日向 海翔